令和５年度

チーム鶴谷

自主　　共生　　創造

令和６年３月 18 日
仙台市立鶴谷中学校
学校だより第 12 号（３月号）
文責　教頭　舟岡

http://www.sendai-c.ed.jp/~turujhs

これまでに感謝　～生徒・保護者・地域と育んだチーム鶴谷～

３月の花に「菜の花」を選びました。花言葉は「快活な愛」です。朗らかに明るく楽しく、毎日を前向きに過ごせるのは**あなたがいるおかげという感謝の意味が込められています。**また、あなたから溢れ出るポジティブなオーラは周りの人をいつも元気にしているというメッセージが込められております。３月の別れの月となった今、そんな感謝の思いを伝えられればと思っております。

学校でも３月９日には卒業式を迎え、92 名がここ鶴谷中学校を巣立っていきました。とても感動的な式でした。そんな卒業生には、これからもその明るい菜の花のような「快活さ」を失わず、朗らかに進んでいってほしいと思います。また、在校生も３月 22 日には修了式を迎え、この１年間の学習を修了し４月からの次のステージへと歩みを進めることとなります。新入生を迎える次の１年間も、その明るい菜の花のような「快活さ」で学校を牽引してくれることに期待を込めて、この花を選びました。

＜これまでの日々に感謝　第 51 回　卒業式＞

３月９日（土）に第 51 回卒業式を本校体育館にて執り行いました。前日に行われた同窓会入会式では、堀越同窓会長から受け継いだ小原伸新会長から「自分の可能性を信じ、力強くこれからの人生を歩んでほしい」とはなむけの言葉をいただきました。また市民センター等、これまでお世話になった地域の方々からもたくさんの祝詞をいただきました。

卒業式当日は別れを惜しむ雪模様となりましたが、卒業生による合唱のころには晴れ晴れとした天気となり、天気まで旅立ちを祝うかのようでした。卒業式会場に向かう通路には在校生からの温かい感謝のメッセージが飾られ、卒業生の門出を在校生や地域・保護者の皆様でチームとなって祝うことができた卒業式でした。

３学年の保護者の皆様におかれましては、これまで本校教育活動にご理解とご協力を賜りまして本当にありがとうございました。

＜あの日を忘れない　日々の生活に感謝＞

３月 12 日には、故郷復興プロジェクトを実施しました。昨年度から連携し学習を進めている仙台第三高等学校の生徒６名が来校し、防災について授業を行いました。授業を受けた２学年の生徒は「今まで防災についてたくさん学習してきたけど、まだまだ知らないことがあることに気づけた。いざという時に、どうやって自分を守るのか理解することができた」と考えを深めていました。

また、帰りの会では教育委員会が作成した映像に続き、プチレスキューでの生徒の感想を加えることで、東日本大震災の記憶がない生徒たちにも、当時の中学生がどのような気持ちで過ごしていたか思いを馳せ、災害を自分事と捉えることができました。そして何よりも、この日々の生活が送れていることに感謝し、だからこそ自分の人生を精一杯生きなければならないと考えを深めることができました。今後も３月 11 日の出来事を風化させることなく、教育活動を進めて参ります。ご家庭でも話題にしていただき、防災だけでなく生徒のこれからの進路についても、この春休みにお話いただければと思います。

＜来年度もチームとして　保護者の皆様へ感謝＞

学校便り１月号では、まなびポケットの未登録の保護者の皆様に登録の仕方について御案内させていただきました。それによって多くの保護者の皆様が登録いただきました。ご協力ありがとうございました。不明な点があれば遠慮なく教頭まで連絡いただければ、手順に従い登録をサポートいたします。（右の QR コードに手順をお示したプリントをリンクいたしました。またこちらでつながりにくい場合は学校の Web ページにも掲載しています。）今年度中に登録いただければ、来年度の新学級にこちらで登録できますので、ぜひ３月 25 日までにご登録いただきますようよろしくお願いします。また、まなびポケットが使用できない時など、緊急の連絡は一斉メールにてさせていただきますので、併せて一斉メールが未登録の方もぜひご登録をお願いいたします。

これからも生徒一人一人の成長を保護者の皆様とともにチームになって見守っていきたいと思います。今年度は日立システムズホール仙台で行われた創立 50 周年記念式典や合唱祭、多くの保護者の方に参観いただいた運動会など、実施できたのも保護者の皆様のご協力とご理解があったからこそと思っております。来年度も引き続きご協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

＜地域の皆様に感謝＞

今年度も引き続き、各町内会の会長様のご協力で、学校便りを町内回覧板にて地域の方々にも生徒の活躍の様子をお伝えすることができました。また、チームニコ鶴プロジェクトが立ち上がり、地域貢献のためのボランティアや地域の魅力を伝える「あつまれ！杜のフェスティバル」を実施することができました。学校での防災教育「プチレスキュー」も実践的な内容にし、その成果を地域防災訓練で発表させていただく機会を得ました。子供たちが地域で活躍し認められる機会を多くいただき、改めて感謝申し上げます。来年度も引き続き、地域の学校として歩みを進めて参りますので、ご協力よろしくお願いいたします。

※第三者への公開・開示や不当な目的での使用、複写及び複製を禁じます。